

## 映画『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』の舞台 文京学院大学で劇中美術や撮影小道具を展示 本郷キャンパスに常設ギャラリーを設置、作品の世界観を身近に体感

文京学院大学（学長：福井勉）は、本郷キャンパスD館1階入口に、映画『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』の劇中で実際に使用された美術作品や小道具などを紹介する常設ギャラリーを設置したことをお知らせします。

### 設置の背景

映画『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』は、本学院創立者・島田依史子著『信用はデパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語』を原案に制作された作品であり、文京学院大学にとってもゆかりの深い映画です。キャンパス内での撮影を実施したほか、大学名が劇中でそのまま用いられています。

こうした背景を踏まえ、本学を訪れる方々に作品と大学のつながりを伝えるとともに、在学生や教職員も含め多くの来学者に映画の世界観をより身近に感じていただく場として、ギャラリースペースを設置しました。展示では、映画のシーンを彩る富士山の絵画や、物語の鍵となる絵手紙、キャスト関連資料、原案書籍およびノベライズ本、撮影で実際に使用された小道具などを紹介しています。

本展示は、映画という文化芸術を身近な学びの場に取り込む、本学院ならではの教育的・文化的取り組みです。作品をご覧になった方には映画の記憶を振り返る機会を、これから作品に触れる方には物語への関心と豊かな感性を育むきっかけを提供していきます。

### 展示概要

■ **タイトル**：映画『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』常設ギャラリー

■ **場所**：文京学院大学 本郷キャンパス D館1階入口（東京都文京区向丘1-19-1）

■ **対象**：学校法人文京学院（大学・中高・幼稚園）の学生・生徒・園児、保護者、教職員、および本学へお越しの来訪者様（オープンキャンパスなど）

※本展示は、本学院の学生・生徒・園児をはじめとするコミュニティを対象とした、情操教育・文化体験の場として位置づけております。映画という表現芸術を通じて、創造性や感性を育む学院独自の教育的取り組みの一環として実施するものであり、一般の方のキャンパス入構はご遠慮いただいております。

### ■ 内容：

- ・ 映画ポスター
- ・ 劇中で使用された絵画、絵手紙
- ・ キャスト関連資料
- ・ 映画原案書籍およびノベライズ本
- ・ 撮影で使用された小道具 など

■ **取材・撮影について**：報道関係者の取材・撮影は歓迎いたします。事前にご連絡願います。

### 2025年10月公開作品映画『富士山と、コーヒーと、しあわせの数式』について

■ **主演**：豆原一成（JO1）（『劇場版 仮面ライダーリバイス バトルファミリア』(22)、『BADBOYS -THE MOVIE-』(25) 市毛良枝（『ラーゲリより愛を込めて』(22)、『明日を綴る写真館』(24)等）

■ **監督**：中西健二（『青い鳥』(08)、『花のあと』(09)、『大河への道』(22)等）

■ **脚本**：まなべゆきこ（『おと・なり』(09)、『オオカミ少女と黒王子』(16)、『サイレントラブ』(24)等）

■ **音楽**：安川午朗（『ふしぎな岬の物語』(14)、『孤狼の血』(18)、『せかいのおきく』(23)等）

■ **制作プロダクション**：PADMA

■ **原案**：島田依史子『信用はデパートで売っていない 教え子とともに歩んだ女性の物語』  
（講談社エディトリアル刊）

■ **原案総責任**：島田昌和

■ **配給**：ギャガ

©2025「富士山と、コーヒーと、しあわせの数式」

映画公式サイト：[https://gaga.ne.jp/fujisan\\_and\\_coffee](https://gaga.ne.jp/fujisan_and_coffee)

